

平成27年度事業計画



社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会の基本理念（ビジョン）

だれもが心の豊かさと幸せを実感できる

「福祉のまち奥州市」をめざして

新たな福祉のまちづくりにあたっては、だれもが「この地域に住み続けたい」願いをかなえるため、市民一人ひとりのふれあい、ささえあい、たすけあい、わかちあい、かたりあいの輪をひろげ、みんなが心の豊かさと幸せを実感できる「福祉のまち奥州市」をつくれます。

1. 市民の福祉に対する願いに応え、「みんなと交わる」ことを大切にしながら、親しみに満ちた福祉活動をめざします。
2. 市民の福祉に対する関心を高め、「みんなとともに楽しむ」ことを大切にしながら、市民参加による福祉活動をめざします。
3. 市民の福祉に対する理解を深め、「みんなのために役立つ」ことを大切にしながら、よりよい自立に向けた福祉活動をめざします。
4. 市民の福祉にかかわる活動をしている人たちと手を結び、「みんなのための福祉」のあるべき姿を考え、市民の信頼に応える福祉活動をめざします。

平成17年10月12日制定

平成 27 年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会事業計画

1 基本方針

平成 26 年度は「だれもが心の豊かさと幸せを実感できる福祉のまち奥州市をめざして」の基本理念のもと、住み慣れた地域で安心して生活できるようご近所福祉スタッフ等による見守り、ささえあいの会による家事援助や生活援助、住民支え愛マップづくりなど小地域福祉活動の支援や住民同士による支え合い態勢の基盤づくりに取り組んできました。また、安心生活基盤構築事業を受託し、孤独死や虐待が発生しない地域づくりを目指し、住民参加により地域において抜け漏れのない実態把握と支援を実施する取り組みや法人後見の実施に向けた取り組みを進めてきました。今年度はこれらの事業を継続するとともに、引き続き身近な地域で見守る仕組み、地域住民が互いに支え合う仕組み、地域の課題を掘り起こす仕組みづくりを進めます。

新規事業としては、奥州市から生活困窮者自立相談支援事業を受託し、地域福祉を推進する機関、団体と連携して、対象者の把握に努め、親身になった相談を通して早期かつ確実な自立につながるよう支援を行っていきます。

発災から 4 年が経過した東日本大震災の被災者支援、災害復興支援活動は、引き続き登録制少人数派遣型の奥州市沿岸支援隊（奥援隊）や地域団体、住民単位での派遣活動として継続するほか、奥州市内で生活している被災世帯に対し、関係機関と連携して、生活に必要な相談・見守りを行います。また、介護保険事業については、制度改正による介護報酬の引き下げや事業利用者の減少などが進行する中、本会の提供する介護サービスをさらに充実し、利用者が安心して利用できる施設経営に努めます。

さらに、市民と一体となった活動の基本計画となる奥州市地域福祉活動計画については、計画の最終年となるため市の福祉計画と連携して来年度に向けた見直しを行うとともに、平成 28 年度は本会合併 10 周年となることから区切りとなるべき事業の検討及び準備を進めます。

2 重点項目

- (1) 小地域福祉ネットワークやふれあいいきいきサロン等の住民支援活動の推進
- (2) 家事・軽介護サービス「ささえあいの会」の推進
- (3) 生活困窮者自立相談支援事業の推進
- (4) 東日本大震災被災者支援の継続
- (5) 介護保険事業における介護サービスの充実と効率化の推進
- (6) 奥州市地域福祉活動計画の見直し

平成27年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会の主な事業内容

1 法人運営

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	三役会議、理事会、監査会、評議員会	本所	会 費 寄附金	6,000	定款に基づき会議を開催し、社会福祉協議会の健全運営と地域福祉活動の推進に向けた取り組みを協議し決定します。 * 三役会議 会長、副会長、常務理事、事務局長において法人業務執行を行います。 * 理事会 15人で構成。法人業務の決定を行います。 * 監査会 3人で業務執行状況、法人の財産状況の監査を担当します。 * 評議員会 40人で構成。法人の議決機関、予算・決算、定款変更、事業計画及び事業報告の議決を行います。	
2	部会・委員会等の開催	本所	－	－	委員会等を設置し、地域福祉事業のありかたや社協事業の検討を行い、必要に応じて専門的な事項について、会長の諮問に対する意見を具申します。 * 部 会：総務部会、地域福祉部会、在宅福祉部会 * 委員会：ボランティア・市民活動センター運営委員会、職員人事委員会等	
3	役員研修・職員研修の実施	本所 ・ 各区	会 費 寄附金	260	社協の役職員としての使命感を持ち、地域福祉事業を効率的かつ適正に行うために、各職務に必要な専門知識や技術を習得し資質向上を図ります。 * 役職員研修会の実施 * 職場内研修の推進	
4	財務経営管理	本所	－	－	適正かつ効率的な事業運営と財務経営管理に努めます。	
5	福祉サービス苦情解決事業	本所 ・ 各区	会 費 寄附金	83	本会が提供する福祉サービス等に対する苦情への適切な対応を図ることにより、苦情の円滑・円満な解決の促進及び本会の信頼並びに確実性の確保を図るとともに、利用者が福祉サービスを適切に利用できるよう支援します。 * 第三者委員（6人）を設置 * 事業所ごとに苦情受付担当者を設置 * 福祉サービス運営適正化推進会議や苦情解決研修の実施	
6	地域福祉推進協議会や地区振興会等自治会との協働による事業推進	本所 ・ 各区	－	－	市内の区域ごとに総合的な地域福祉の充実と発展に関すること、事業推進の評価に関すること、福祉の諸課題等の発見及び解決に向けた方策に関することを協議し、地域の福祉活動を市民の参画を得ながら推進していきます。 * 三役・地域福祉推進協議会委員長合同会議の開催 * 振興会等の自治組織との協議・事業推進	
7	共同募金運動への協力	各区	－	－	地域福祉活動の重要な財源である共同募金事業との連携協力を図ります。 * 罹災者支援事業 共同募金配分金により、罹災者に対する支援活動に協力します。 災害等支援活動／災害見舞金の交付	

2 福祉センターの経営（経営2施設・指定管理1施設）

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	総合福祉センターの経営	本所 ・ 水沢 ・ 胆沢	補助金 利用料	12,367	市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、 地域福祉活動を推進するための活動拠点と します。 * 奥州市総合福祉センター * 胆沢総合福祉センター	
2	江刺総合コミュニティセン ターの経営	江刺	指定管理料	29,696	市の指定管理を受け、ノーマライゼーション の理念の普及と高揚を図り、市民の相互理 解と交流の活発化の推進のため、地域福祉 の研修や文化活動等を行う拠点とします。 * 江刺総合コミュニティセンター	

3 地域福祉活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	福祉活動推進員設置事業	全区	会 費 寄附金	332	市内の行政区単位に福祉活動推進員を設置 し、地域福祉活動を推進します。	
2	民生委員・児童委員(協議 会)との協働活動の推進	全区	会 費 寄附金	323	民生委員・児童委員(協議会)と地域福祉推進 のため連携し、調査活動等を協働で行いま す。	
3	第10回奥州市社会福祉大 会の開催	全区	共募配分金	937	社会福祉功労者表彰、講演や研究討議等を 実施し、福祉活動への共通認識と理解を深 め福祉意識の醸成を図ります。	
4	広報活動の推進	全区	共募配分金 広告料	2,557	社会福祉協議会広報紙「おうしゅう福祉だよ り」を発行し、福祉活動の啓発を図り、市民の 参画を促進します。 * 市内全世帯44,500部発行／年間6回奇数 月 * 支所福祉だよりの発行 * ホームページを開設し、幅広い情報の提 供 * メールマガジンの発刊／毎月 * ツイッターでの情報提供／随時	
5	地域福祉活動計画の推進	全区	共募配分金	288	平成21年度に作成した地域福祉活動計画 (期間22年度から27年度)の最終年度である 今年度までの総評価と28年度からの第2次 計画策定について、奥州市地域福祉計画と 連携を図りながら進めていきます。	
6	奥州福祉推進市民会議の 推進	全区	共募配分金	252	市民及び町内会等の自治組織やボランティ ア団体等、福祉分野の枠組みを超えた団体 や機関が一体となって、地域の福祉課題の 確認及び奥州市地域福祉活動計画のモニタ リングや次期計画策定に参画します。	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
7	住民支えあい推進事業 ①小地域福祉ネットワーク推進事業 ②要援護者台帳整備、緊急連絡カードの配備 ③ふれあいいきいきサロン事業 ④小地域における福祉活動助成 ⑤たすけあい行動プラン策定事業 ⑥住民支え愛マップ事業	全区	会 費 寄附金 受託金 共募配分金	18,655	地域の中で支援を必要としている人に対して、近隣の方々やボランティアとともに、自分の住む地域の中で安心して暮らすことのできるような取り組みを、個別支援活動とグループ支援活動として進めていきます。そのため、地域福祉活動を推進している団体に助成金を交付し、積極的な推進を図ります。また、新制度や各種法改正等の動向を踏まえながら、今後の事業の在り方について検討して行きます。 ① 小地域福祉ネットワーク推進事業（個別支援活動） ＊ 地域の要援護者に対する見守りや安否確認、訪問活動等を展開し、市民相互の支援活動の実施 ② 要援護者台帳等整備、緊急連絡カードの配備（個別支援活動） ＊ 民生児童委員や福祉活動推進員等が連携し、要援護世帯の安否確認と生活支援に必要な情報を整理し、緊急時における支援体制の構築を図り、台帳整備と緊急連絡カードの配備を促進します。 ③ ふれあいいきいきサロン（グループ支援活動） ＊ 地域住民が分館や集会所を会場にお茶飲み会や交流などを行い、地域生活の生きがいづくりと介護予防を図る。特に中山間地域の普及をめざした開設支援に取り組む。 ④ 小地域における福祉活動助成 ＊ 地域福祉活動を推進する団体に、ネットワーク活動及びふれあいいきいきサロン活動の取り組みに対する助成金を交付 ⑤ たすけあい行動プラン策定事業 ＊ 災害時要援護者避難支援計画の個別計画に基づき、災害時には要援護者の迅速な安否確認と支援を行うことを目的に台帳整備を行います。（ネットワーク台帳との統一を目指す） ⑥ 住民支え愛マップ事業 ＊ 小地域での生活上の課題を掘り起し、地域の要援護者への今後の関わり方や地域の生活課題の解決策などを探るひとつの手法として実施し、地域の支え合いの仕組みづくりを構築します。既に作成している地域での更新も推進します。	ネット数（継続） 見守り2,480人 協力員5,400人 連絡カード配備数 3,245枚 行政区普及率 91.8%から93%へ 避難支援台帳 506枚（2倍増） マップ作成数 70カ所（2倍増）
8	歳末たすけあい運動配分事業 （在宅激励金） （地域福祉活動配分）	全区	共募配分金	15,285	歳末たすけあい運動の激励金をお届けし、地域全体で激励活動を展開するとともに各種の地域福祉活動の助成を行います。また、配分対象等について整理を行います。 ＊ 身よりのない高齢者、介護を必要とする者、母子・父子世帯、災害被災世帯等 ＊ ふれあいいきいきサロン事業、福祉団体や福祉施設等の歳末活動事業	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
9	安心生活基盤構築事業	全区	受託金	18,958	地域において、見守りや買い物、外出等への支援を必要とする方々の日常の困りごとを適切に把握し、地域で支援できる態勢づくりの構築に取り組みます。 ① 抜け漏れのない実態把握事業 * 関係機関・団体と連携し、訪問調査活動に取り組み、併せて市内30地区で住民懇談会を開催しニーズを把握 ② 生活課題の検討・調整 * 地域福祉推進担当者の連絡会議を毎月開催するほか、関係機関等を交えたケース検討会・調整会議を年2回開催 ③ 抜け漏れのない支援の実施 * ご近所福祉スタッフによる見守り活動の推進とボランティア協力店の普及促進による買い物の支援 * (住民参加型在宅福祉サービス「ささえあいの会」)家事援助や生活援助を登録会員が有償でお手伝いする取り組みを推進し、要支援者へのサポートを強化します。具体的な活動は、調理／洗濯／掃除／買い物／軽易な身の回りの世話／外出介助及び付添い／話し相手など ④ 地域支援活性化事業 * ボランティア団体と共同で「傾聴」の技法・技能を修得する傾聴ボランティア養成講座の開催及び施設や地域での訪問活動の実施の支援をします ⑤ 住民参加型まちづくり普及啓発事業 * 研修会や講演会の開催 ⑥ 自主財源確保事業 * 自主財源の確保のための取り組みの強化(共同募金との共同による赤い羽根自動販売機の設置) ⑦ 権利擁護推進センター等事業 * 法人後見の実施及びセミナーを開催し、権利擁護の取り組みを推進 * 介護職員初任者研修を開催し、福祉人材の育成	福祉スタッフ実施行政区 313行政区(2%増) ボランティア協力店 115店舗(30%増) おねがい会員 130名(10%増) まかせて会員 68名(10%増) まかせて会員研修会 4回/年 活動(支援)回数 1,940件(10%増) 設置台数 40台(23%増) 受講定員20人
10	ふれあい昼食サービス事業	全区	会費・協賛金 共募配分金	844	ボランティアと協働でひとり暮らし高齢者への会食による昼食サービスを行うことで社会参加の促進を図ります。	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
11	金婚を祝う会開催事業	全区	参加費 共募配分金	2,740	結婚50周年を迎えたご夫婦が参集し、互いに歩んできた道のりを祝福しあい、今後も健康で生きがいのある生活を送り、地域の中で活躍することを願って開催します。	水沢 70組 江刺 50組 前沢 20組 胆沢 20組 衣川 5組
12	敬老会開催事業	水沢 ・ 江刺	補助金 共募配分金	12,504	敬老精神によるお祝いと、要請に応じて地域で開催する敬老会に支援を行います。 * 敬老会開催／交流／社会参加促進等	出席率 水沢 38% 江刺 45%
13	地域ニーズ対応事業	水沢	協賛金	278	地域でのひとり暮らし高齢者のつどいなど地域特性を生かしたニーズに対応する事業を展開します。 * 地域での介護者リフレッシュ事業、ふれあい世代間交流の場設置事業など	
14	高齢者いきいき事業	水沢	参加費 共募配分金	360	元気高齢者を対象とし、社会参加の機会の提供と生きがいづくりのため、「なんでもやろう会」、「思い出パートナー(回想法)」などの事業を開催します。	
15	還暦者のつどい開催事業	江刺	－	－	還暦者が一同に会し、歩みを尊重し讃え合う機会とし、知識と経験を生かした地域づくりへの参画を推進する契機とします。 * 式典／記念講演／交流／社会参加促進研修	
16	おげんきみまもりシステム	江刺	共募配分金	80	ひとり暮らし高齢者宅の電話を用いて健康状態を発信する「いわて“おげんき”みまもりシステム」を活用して、近隣では見守りが困難な世帯の安否確認を行います。 * 江刺区の要援護者を対象に、岩手県社会福祉協議会のICT(情報通信技術)のシステムを用いて毎日の安否確認をします。 * 緊急時や必要な生活支援に対応できる地域のささえあい活動につなげていきます。	現状維持／15人
17	障がい者事業	江刺 ・ 胆沢	共募配分金	10	事業を通じて交流し、相互理解の推進を図ります。 * 障がい者の日記念「ふれあい演芸会」事業 障がい者と健常者が演芸等をともに企画し、交流しながら相互理解を深めるとともに、「障がい者の日」の啓発を図ります。 * 車いす・視覚障がい者のつどい 障がい者並びにその家族との交流を深め、日常生活行動の意欲を高めるため実施します。	参加者 300人
18	子どもの遊び場点検・整備事業	前沢	共募配分金	125	共同募金配分により整備した遊び場の遊具を点検し、子どもの遊び場の安全確保を図ります。	現状維持／15カ所

4 ボランティア活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	ボランティアセンターの運営	全区	参加費 共募配分金	3,889	ボランティア情報の提供や活動拠点としてのボランティアルームの開設、ボランティア登録事業などを通じて、ボランティア活動の啓発と活性化を推進し、ボランティア団体の支援を行います。また、平成28年度に開催のいわて国体・いわて大会で活動する情報支援ボランティア養成の支援を行います。 ① 講座研修会の開催 ＊ ボランティア研修(メイクボランティア、おうしゅうソーシャルキャンプ、おうしゅう福祉大学)／福祉教育推進セミナー／暮らし支えるボランティアの集い／ふくし出前講座など ② 調査研究・情報提供 ＊ 奥州・ゆいっこ人材名鑑の発刊／民間活動資金の紹介／ボランティア情報の発行／市民ニーズアンケートの実施 ③ 相談・援助／コーディネート ＊ ボランティア登録制度の推進／ボランティア保険等の加入促進／各ボランティア団体の活動支援など ④ 福祉教育の推進 ＊ 市内の小・中・高校等をボランティア協力校に指定し助成します。なお、学校の統廃合を受け、活動内容や指定条件等について検討します。 地域の特徴的活動等 テクノボランティア活動／車いすフレンズ／書き損じはがき等の回収／ひざかけプレゼント行動／握手の日・ボランティア週間／ヒロノ福祉パーク祭・夢灯りin江刺／ボランティア協力店／スターキッズ大作戦／ジュニアスターサマーボランティア／それ行けサンタ大作戦・ハッピーサンタ大作戦・ハローサンタ大作戦など地域特性を生かしたボランティア活動を推進します。	研修参加者 1回30人 人材名鑑登録者 122人(25%増) ボランティア登録者 72人(25%増) ボランティア協力校 モデル指定3校 一般指定校65校
2	復興ボランティア派遣支援事業	全区	受託金	4,823	東日本大震災による被災地へ登録型の奥州市沿岸支援隊(奥援隊)を4～5名のグループで派遣支援を継続するほか、地域団体や地区住民の被災地でのボランティア活動が円滑にできるようコーディネートと支援等を行います。	
3	除雪支援活動	全区	－	－	高齢者・障がい者等を対象とした冬期間の除雪ボランティア(スノーバスターズ)による生活支援ネットワークを推進します。	
4	ボランティアの集い、福祉まつりの開催	全区	共募配分金	507	心のふれあいと安らぎのある福祉地域づくりを目的として、支えあい活動の輪が広がるよう市民みんなの出会いと交流、福祉活動の成果発表の場として開催します。	
5	収集ボランティア運動	前沢	共募配分金	120	実行委員会を組織しペットボトルキャップの収集リサイクル支援の運動を展開します。 25年度収集実績 161件／1576.8kg ボランティア活動者／延べ122人	ボランティア／250人

5 福祉サービス利用支援事業

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	日常生活自立支援事業	全区	受託金 利用料	10,463	障がいや高齢により判断能力が十分でない 方などが、安心した生活を送ることができるよ う、福祉サービス利用のための相談や支援を 行います。 * 福祉サービス利用支援／日常的金銭管 理サービス／通帳書類等預かりサービス ／相談・訪問活動 * 生活支援員30人、専門員2人	
2	奥州市生活困窮者自立相 談支援事業 (新規)	全区	受託金	18,501	生活保護にならない為の第2のセーフティ ネットとして、生活保護受給者以外の現に経 済的に困窮し、最低限度の生活維持ができ なくなる恐れのある人を対象とし、その自立と 尊厳の保持、困窮者支援を通じた地域づくり を目標とする事業。メイプル地下に事務所を 開設し、対象者に寄り添う伴走型の相談援助 に取り組みます。	
3	生活福祉資金貸付事業	全区	受託金	7,845	岩手県社会福祉協議会からの受託である が、生活困窮者自立相談支援事業との連動 を行ない、要支援者を対象に、生活福祉資金 の貸付による更生援助を図ります。 * 目的資金の貸付受付及び進達／世帯の 自立支援／実態把握／償還指導	
4	たすけあい資金事業	全区	会 費 寄附金	3,501	生計維持困難な支援者を対象に、生活困窮 者自立相談支援事業及び生活福祉資金貸 付事業との連動を図り、たすけあい資金の貸 付による更生援助を支援します。 * 小口の生活福祉資金貸付と生活支援 * 貸付金5万円まで／無利子	
5	まちかど相談員(心配ごと 相談員)設置事業	全区	会 費 受託金	679	生活困窮者自立支援法の施行により、設置 予定の奥州生活支援センター(仮称)と連動 した市民のためのよろず相談窓口を設置し、 悩みごと、困りごとの解決援助を行います。 (相談機能の一部を同センターへ移行するた め、規模を縮小し、効率的な稼働を目指しま す。) * 定例相談所の開設／常時相談・一般相談 ／ケース研究会開催 水沢／毎週金曜日 奥州市総合福祉センター 江刺／毎月第2月曜日 江刺総合コミュニティセンター 前沢／毎月第3火曜日 前沢健康管理総合センター 胆沢／毎月第1木曜日 胆沢総合福祉センター 衣川／毎月第4水曜日 衣川保健福祉センター	開設日数96日
6	ファミリーサポートセンター 事業	全区	受託金	9,240	子育ての支援を受けたい人と、支援を行える 人が会員登録をし、有償で相互援助を行い、 安心して子育てできる環境を作ります。 ・ 広報で募集PR ・ 一般向け講習会開催	新規提供会員 30人 内訳 水沢・胆沢 10人 江刺 15人 前沢・衣川 5人

[illegible]

6 介護保険事業の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	居宅介護支援事業	全区	居宅介護支援介護料 受託金	26,219	介護保険の認定を受けた方のケアプラン作成を行い、介護保険制度を円滑に利用できるようお手伝いを行います。	要介護月間 137件 月間 1,975千円 要支援月間 50件 月間 210千円
2	通所介護事業	全区	居宅介護料 利用料	83,479 30,776 52,703	介護保険の認定を受けた方に対して、デイサービス事業(通所介護事業)を行います。 * デイサービスだいの園 / 定員1日18人 * 胆沢デイサービスセンター / 定員1日30人	(だいの園) 要介護月間 212件 月間 1,763千円 要支援月間 25人 月間 569千円 利用料等 月間 184千円 (胆沢デイサービス) 要介護月間343件 月間 3,052千円 要支援月間 36人 月間 1,051千円 利用料等 月間 278千円
3	訪問介護事業 ヘルパーサービス「げんき」	全区	居宅介護料 自立支援費 受託金	110,959 介護 87,147 障がい 23,812	介護保険の認定を受けた方、障がい者、要介護認定で自立となった高齢者の在宅生活の家事支援や身体の介護を行います。	要介護月間 82人 月間 5,413千円 要支援月間 77人 月間 1,823千円 特定高齢月間12件 月間 27千円 障がい者月間 55人 月間 1,861千円 移動支援月間 6件 月間 40千円
4	訪問入浴介護事業 入浴サービス「ほっと」	全区	居宅介護料 受託金	14,184 介護 12,347 障がい 1,837	介護保険の認定を受けた高齢者、障がいにより家庭での入浴が困難な方々のために訪問入浴車による入浴の援助を行います。	介護 月間 75件 月間 934千円 障がい 月間 12件 月間 153千円
5	小規模多機能型居宅「あすも」の経営	前沢	居宅介護料 利用料	44,147	利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の中で日常生活上の支援や機能訓練を行います。／定員24人	要介護 月18人 月間 2,802千円 要支援 月6人 月間 400千円 利用料等 月間 484千円
6	いさわ高齢者複合施設「じゅあんの園」の経営	胆沢	居宅介護料 利用料	91,648 74,380 17,268	認知症対応型グループホームと認知症対応型デイサービスセンターの複合型施設の経営を行います。 * グループホームじゅあんの園 / 定員18人 家庭的な雰囲気の中で、ぬくもりのある生活、安心できる生活を送る事が出来るような環境作りに努めます。また、地域に根ざした施設として、地域住民との交流、外出を通し、社会との繋がりを大切にし、いきいきとした生活を送れるよう支援します。 * デイサービスセンターじゅあんの園 / 定員12人 一人ひとりの個性に合わせたサービスの提供を目指し、楽しむ、学ぶ、運動する、出かける等のメニューを組み入れ、共に語りあい、楽しく過ごすことが出来るよう支援します。 居宅介護支援事業所との連携を図り、利用者の確保に力を入れていきます。	グループホーム 要介護月間 17人 月間 4,276千円 要支援月間 1人 月間 230千円 利用料等 月間 1,656千円 デイサービス 要介護月間 130件 月間 1,371千円 利用料等 月間 70千円

7 介護予防活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	地域包括支援センターブラ ンチ型運営事業	水沢	受託金 会 費 寄附金	4,450	高齢者や介護家族等の相談に応じ、介護保 険給付該当外の方が安心して地域生活を継 続できるように関係機関と連携しながら支援 します。また、在宅高齢者宅を訪問し日常生 活や体調について調査活動を行います。	訪問相談 200件 介護予防教室 40回 家族介護教室 5回
2	生きがい対応型デイサー ビス事業	水沢 ・ 胆沢	受託金 利用料	18,463	要介護認定で自立となった高齢者に対し介 護予防のデイサービスを開設し、社会参加活 動と交流活動の促進、身体機能の維持に努 めます。 ＊ 軽運動／レクリエーション／外出活動／交 流活動	水沢 利用者 2,400人 胆沢 利用者 1,000人
3	食の自立支援事業	水沢 ・ 江刺 ・ 胆沢 ・ 衣川	受託金 利用料	12,076	ひとり暮らし高齢者等に安否確認をしながら ボランティアが昼食を届けます。 ＊ 水沢 週5日(月～金) 1食500円 ＊ 江刺 週3日(火～木) 1食500円 ＊ 胆沢 週1日(金曜日) 1食300円 ＊ 衣川 週5日(月～金) 1食300円	2,280食 1,100食 1,000食 2,880食
4	江刺高齢者生産活動セン ターの経営	江刺	指定管理料 受託金	8,428	高齢者の経験や技術を生かした就業機会の 増大を図り、生きがいを高めるため、高齢者 の生活活動を推進し、山村地域の振興を図り ます。 ＊ 生産活動の場の提供／創作活動の場の 提供／販路の拡大	利用者 1,600人
5	大岳高齢者生きがいセン ターの経営	江刺	指定管理料	9,828	高齢者が日々生き生きと生活することができ るよう高齢者相互の交流を促進し、高齢者の 心身の維持及び向上を図ります。 ＊ 送迎／健康相談／日常動作訓練／趣味・ 教養・創作活動／入浴サービス／相互交 流 ＊ 週5日(月～金) デイサービス3日／いき がい講座2日	利用者 1,600人
6	高齢者地域活動推進事業	江刺 ・ 前沢 ・ 胆沢	受託金 共募配分金	4,807	高齢者の生きがいと社会参加を促進すると 共に、家に閉じこもりがちなひとり暮らし高 齢者等に対し、施設を活用した活動の場を提供 し、社会的孤立感の解消及び自立の支援を 図ります。 ＊ 江刺 「いきいき講座・同好会」 ＊ 前沢 「趣味・創作活動」 ＊ 胆沢 「べんてん広場」「みんなのたまり 場」	講座 年間30回／400人 同好会 年間550回／7,100人 新規講座 8講座／24回 毎月開設

8 保育所、児童センター等の経営

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	米里保育所の経営	江刺	補助金 運営費	35,636	保護者の仕事の都合などにより、家庭でお子 さんの保育ができない方の為に代わって保 育をします。保育所保育指針に従って日々安 全に配慮しながら、心身共に健やかな成長と 基本的な生活習慣の自立を援助します。 ＊ 定員40人 ＊ 乳幼児保育／障がい児保育／一時的保 育／子育て支援	

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
2	児童厚生施設(児童センター)の経営	水沢 ・ 江刺	指定管理料 利用料	133,680	小学校に就学している児童を対象とし、下校後及び長期休業日、土曜日に適切な遊びや生活の場を提供し健全育成活動に努めます。また、小学校や地域と連携し、地域における児童の総合支援を行います。 ＊ 水沢区内8小学校区単位・8館／定員545人 ＊ 江刺愛宕小学校区・1館／定員60人	
3	放課後児童健全育成事業(児童クラブ事業)	水沢 ・ 江刺 ・ 衣川	受託金 利用料	35,380	就労等により保護者が日中家庭にいない小学校に就学している児童を対象として、放課後児童クラブという名称で、児童の保育サービスを提供します。 ＊ 水沢8カ所／240人 ＊ 江刺1カ所／40人 ＊ 衣川2カ所／60人	

9 収 益 事 業

No.	事 項	区分	主な財源	事業額 (千円)	内 容	目標値
1	前沢区民バス運行事業	前沢	補助金 利用料	19,691	高齢者などの交通弱者を含めた前沢区内の利用希望者を対象として、ドア・ツー・ドアの交通手段を確保し、外出しやすい環境を整備し、日常生活の利便性を図ります。 ＊ 前沢区内のみ 大人1回300円／小学生1回150円／乳幼児無料 障がい手帳所持者は半額	26年度低迷、25年度実績並にする 25年度実績 利用者16,325人 利用料4,359,300円
2	販売機の設置事業	水沢 ・ 江刺	手数料収入	870	自動販売機の売上手数料の利益を福祉活動に役立てます。 ＊ 福祉センター／交流センター／江刺コミュニティセンターに設置	